

コミュニケーションと ことばの発達

療育センターにつながったばかりの保護者の方へ
ことばの発達：ことばがまだない～単語が出た段階

横浜市中心部地域療育センター 言語聴覚士



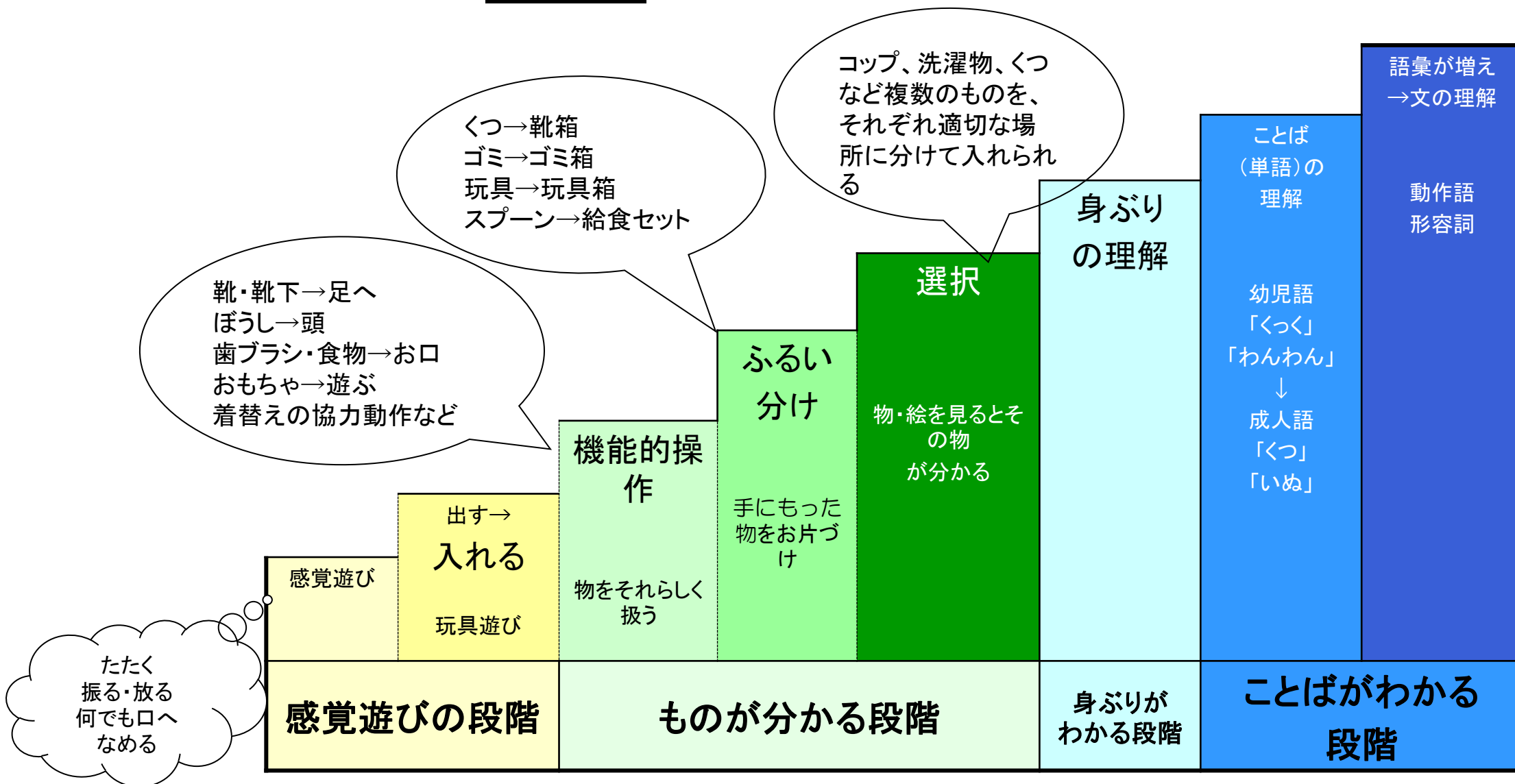
ことばにまつわる誤解

- ことばが出ない/遅いのは、ことばかけが足りないんじゃない？・・・じゃあいっぱい話しかけよう
- ことばを教えてないから知らないんだな
・・・じゃあたくさん教えよう
- ～になったら喋るよ

→大事なのは、①お子さんはどの理解の段階なのか
②ことば以外の表現を読み取ること



①ことばの理解の階段



②表出：ことばの仲間を読み取り実況中継



あそびのコツ



- いま、何をしてるのかな？
- 何が楽しいのかな？
- 今の気持ちを実況中継してみよう
- お子さんの行動をまねしてみよう！
- 繰り返してみよう！
- 大人の気持ちも表現しよう！

そのすべてが
ことばのモデル



大人のことばかけ：ことばのシャワーより一球入魂！

- ゆっくり、はっきり
- 短く：単語か二語文くらい
- 幼児語「ブーブー」「ネンネ」、身ぶりを使う
- 繰り返す
- 「今、ここ」の話題：未来、過去はよく分からない
- 適度な間を空ける
- 質問を減らす
- 言わせることより、モデルを十分に聞いてもらう。

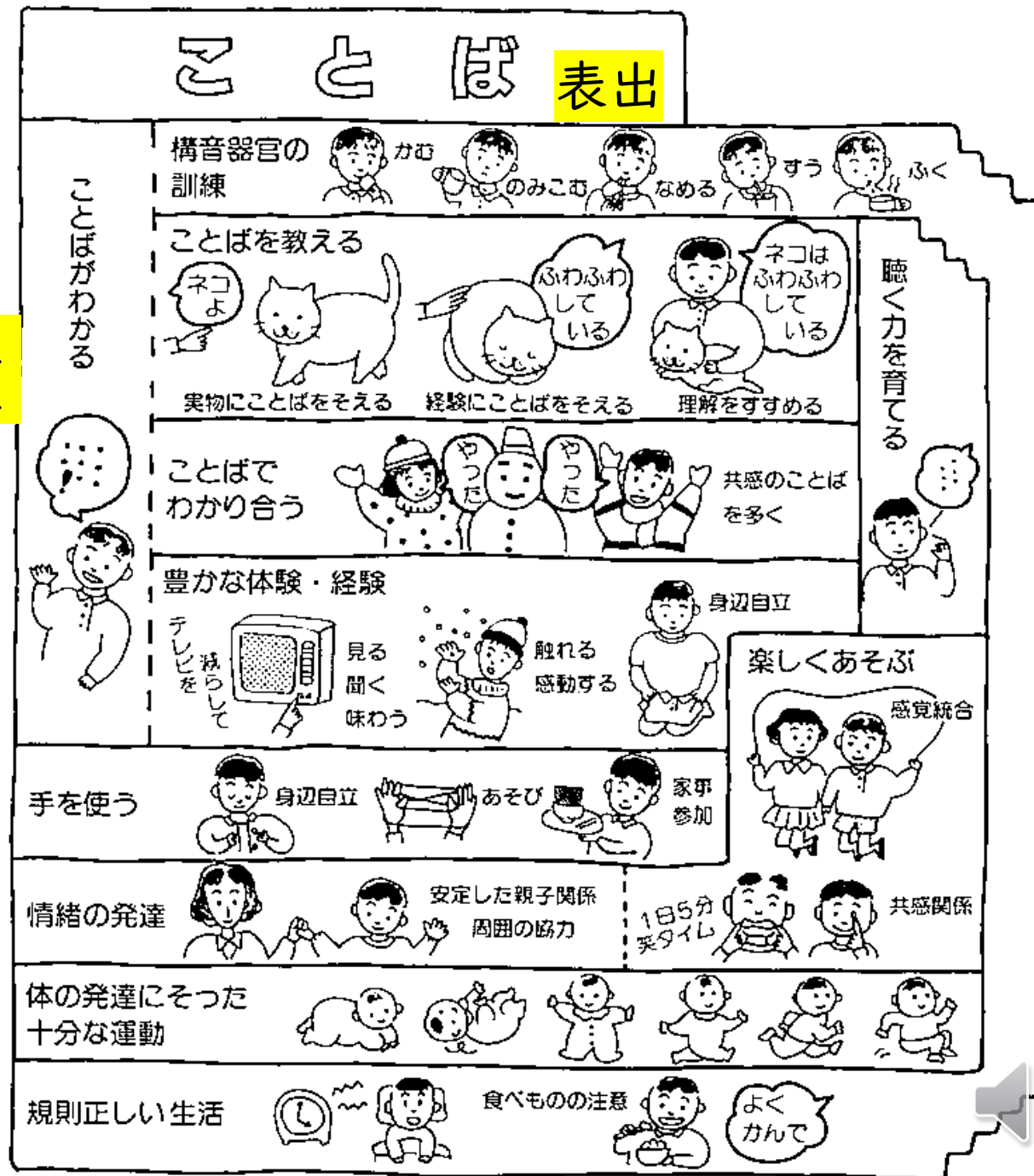


規則正しい生活を過ごしましょう

- ・ことばのビルの基礎 = 規則正しい生活、十分な睡眠、身体や情緒の発達
- ・「様子を見ましょう」=よく育つ土壌を整えて、育つのを待ちましょう

中川信子著「健診とことばの相談」ぶどう社

理解



人との直接的なコミュニケーション

- ・触れ合い遊び：くすぐり、抱っこ、たかいたかい、ぐるぐる回し、手遊び歌など
- ・顔を使った遊び：ブブブ（口唇を振るわせる）、ベロベロ、パパパ、アッププー、イナイイナイバー
- ・力のやりとり：手、指や足を握って、ギュッギュッ遊び

☆「楽しいね」の確認＝視線を合わせて

☆「もう一回」が出るのを待つ＝間を開ける



よいコミュニケーションパートナーに

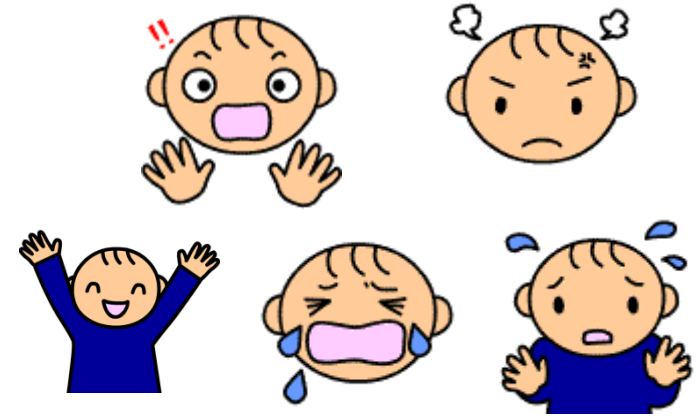
- 共感！！

「いたね！」「あったね！」

「おもしろいね！」「あれ～変だね？」

「イヤだったね」「おしまいなの？」

・・・「あなたの気持ち分かったよ！」を返してあげましょう



- 繰り返しを楽しみましょう
- 大人の表情や身ぶりを豊かに
- 取りやすいボールを投げましょう

＝理解のレベルに合った、わかりやすいことばかけ



おわり

